

2018年10月9日

会員各位

公益社団法人日本語教育学会

会長 石井恵理子

文部科学省委託

「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発事業」
「モデルプログラムを活用した授業・研修事例」の報告者募集について

公益社団法人日本語教育学会は、2017年度に文部科学省の「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発事業」を受託し、研究調査及び開発事業を進めてまいりました。2017年度は外国人児童生徒等の教育を担う教員・支援員を養成・研修するための「モデルプログラム（案）」を開発し、公表しました。これは本事業の2017年度報告書として本学会HP上で公開し、ダウンロードできる状態になっております（http://www.nkg.or.jp/pdf/2017momopro_hokoku.pdf）。

2018年度は、この「モデルプログラム（案）」を実際に活用しながらその検証をする作業を進めており、その有用性について広く検討することが求められております。そこで、ぜひ会員の皆さんにも本「モデルプログラム（案）」を活用した授業や研修を実際に行っていただき、その可能性と課題についての議論に加わっていただきたいと思います。

2019年2月23日（土）には本事業にかかるシンポジウムを開催しますが、その折に「モデルプログラム（案）」を活用した養成・研修を実施してくださった方にも成果のご紹介・ご報告をいただく機会を設けます。「モデルプログラム（案）」を活用して外国人児童生徒等の指導者・支援者に対する研修を実施し、その成果をご紹介・ご報告いただけませんか。実施いただく授業や研修については、長さ、対象人数などの限定はありません。なお、募集にあたっては、当学会会員であり、日本国内の大学で学校教員養成あるいは日本語教師養成に携わっているか、地域で外国人児童生徒等を支援する日本語ボランティアの養成・研修を実施している方を対象とさせていただきます。

別紙にて募集内容と応募要件等についてご案内いたします。ご一読のうえ、ふるってご応募くださいますようお願い申し上げます。

<本件担当>

本事業調査研究本部代表 齋藤ひろみ（東京学芸大学）

公益社団法人日本語教育学会 本事業担当：大塚徹・白石あゆみ

<応募先・問い合わせ先>

mo.mo.pro.model.program@gmail.com（工藤聖子）

公益社団法人日本語教育学会 文部科学省委託事業
「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発事業」

2018 年度シンポジウム

「モデルプログラムを活用した授業・研修事例」の募集に関するご案内

2019年2月23日(土)の午後、文部科学省(予定)で、本事業に関するシンポジウムを開催します。このシンポジウムでは、本事業で開発したモデルプログラム(案)を活用して実施した授業や研修について、その実施状況の紹介・成果報告(以下、報告とする)をしてくださる方を募集します。

ご関心をお持ちの方は、是非モデルプログラムをご活用くださり、報告にご応募ください。

1 応募資格・内容・形態

- (1) 応募資格：公益社団法人日本語教育学会普通個人会員であること(複数の方が取り組まれた事例の場合は、筆頭者および報告者の半数以上が普通個人会員であることとします)。
- (2) 報告内容：本事業で開発した「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム」を活用して実施した授業や研修に関する内容(対象・計画・実施状況・成果等)モデルプログラムが掲載されている報告書は、日本語教育学会のHPでダウンロードできます。

http://www.nkg.or.jp/pdf/2017momopro_hokoku.pdf

★ご報告いただく内容に関しては、本学会の研究倫理の考え方に基づき、実施対象者、実施機関関係者等の承諾を得てください。

- (3) 形態：ポスターセッション(A0版1枚)
- (4) 時間：1時間
- (5) 報告件数：10件程度

2 応募方法

- (1) 募集期間 2019年1月5日(土)～1月31日(木)
- (2) 提出書類 [応募書類](#)の様式に従って、必要事項を記入してください。
- (3) 提出先 e-mailに応募書類を添付してお申し込みください。なお、e-mail送付時のタイトルは「シンポ事例報告申し込み」としてください。

mo.mo.pro.model.program@gmail.com (担当：工藤聖子)

3 シンポジウム当日までの流れ(詳細は、応募受付後に改めてご連絡します。)

- (1) 募集締め切り後に、応募書類受領のご連絡をします(応募多数の場合は、多様な事例をバランスよく取りあげるといった観点から、ご報告いただく方を選択させていただきます)。
- (2) 提出いただく応募書類の報告内容要旨(A4で2頁)を当日の配布資料とします。内容等の確認のために連絡を差し上げる場合があります。
- (3) ポスターを作成し、シンポジウム当日に持参してください。
- (4) 当日は、指定の時刻内に会場にポスターを掲示し、報告の準備をしてください。終了後は、ポスターをご自身で回収してください。

4 報告内容の公開について

本事業では広くウェブ上で事業内容，及び成果物を公開する予定です。本シンポジウムのプログラム・概要に加え，ご報告いただく題目・報告者名はウェブで公開されます。また，許可をいただける場合には，シンポジウム終了後に報告内容をウェブで公開させていただきます（公開可否につきましては，お申込み後に，あらためて確認のご連絡を差し上げます）。

※本募集はシンポジウムで紹介・報告をしてくださる方の募集です。授業や研修でモデルプログラムを活用される場合，実施前に申し込みをしていただく必要はありません。

以上

申込日：2019年 月 日

1. 報告者について

・お名前（お立場）：

・実施機関（大学・学部・大学院／団体名）

住所

電話

・連絡先（e-mail）： _____

2. モデルプログラムを活用した授業・研修について

(1) 科目名あるいは研修名

(_____)

(2) 実施時間

<大学の授業> 該当するものに○ *1 単位時間=90分

() 15 単位時間 () 5-10 単位時間 () 3-5 単位時間 () 1-2 単位時間

<それ以外の養成・研修> 具体的に数字を記入

1回 () 分 × () 回

(3) 授業・研修の主な受講者 該当するものに○（複数回答可）

- () 教員養成課程の学生（初等教育教員養成課程，中等教育教員養成課程等）
- () 教職科目を取っている学生（教員養成課程の学生ではないが，教免を取る学生）
- () 日本語教育を専攻する学生（日本語教育を専門に学ぶ学生で教免は取らない）
- () 日本語指導を行っている学校教員（日本語教室・学級の担当教員）
- () 学校で日本語指導を行っている支援員（教育委員会等からの派遣などで）
- () 日本語教師になろうと思っている者（日本語教師養成講座等の受講生など）
- () 日本語教師（現在日本語教師として仕事をしている人）
- () 日本語ボランティアの希望者（これからボランティア活動をしたいと思っている人）
- () 日本語ボランティア（既にボランティアとして活動をしている人）
- () 上記以外（上記に該当しない人）

締め切り：1月31日（木）

応募先 e-mail：mo.mo.pro.model.program@gmail.com 担当：工藤

応募時の e-mail タイトル：シンポ事例報告申し込み

公益社団法人日本語教育学会

文部科学省委託事業「外国人児童生徒等の教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発事業」
2018年度シンポジウム「モデルプログラムを活用した授業・研修事例」報告要旨

タイトル

－サブタイトル（必要な場合）－

報告者氏名（所属）

実施機関	
授業名・研修名	
対象（人数等）	
授業・研修の 目標	
参考にしたモデルプログラムの番号	

<実施状況と成果>

本ページのレイアウト・フォントを維持し、本ページを含めてA4で2ページ以内に、次の点を含めて述べてください。当日は、提出いただいた要旨を印刷して配布いたします。なお、当日は、ご報告用にポスター（A0版1枚）を作成してご持参ください。

- ①授業・研修等の実施計画
- ②実施時の受講者の参加の様子
- ③成果（目標の達成の度合い等）
- ④課題